

子どもエコクラブ 八溝自然たんけんたい

子どもエコクラブとは、身近な自然を大切に思う心や自ら考える力を養うことを目的とする環境活動のクラブです。事務局は、全国事務局になります。大都市でも加入しているクラブがあり、当クラブも定期的に市内外をフィールドにした自然体験活動を実施しています。大子町の豊かな森林や自然を舞台に活動してみませんか？

- 【子ども会員になったら】 ※幼児からは「ぼくらのわたくしのエコカード」も贈られます。
1. メンバースタンプが贈られます。
 2. 自然体験イベントの企画立案
 3. 夏休みや冬休み、博物館などの校外への活動にも参加します。
 4. 活動報告を志してアーススタンプがもらえ、5個たためるとアースレンジャーとして認定証が贈られます。

- 【サポーターになったら】 ※高校生からはサポーターとしての登録ができます。
1. 子ども達の自然体験活動の指導
 2. 自然体験イベントの企画立案
 3. 夏休みや冬休み、博物館などの校外への活動にも参加します。
 4. 会員への連絡 など
- お子さんの会員登録と一緒に登録してください！

【登録について】 ※ 申込用紙は、大子町役場 生涯学習課（☎76-8802）にもあります。

子ども会員（幼児（3才）から中学生くらいまで）

サポーター（高校生以上）

会員サポーターともに入会費・年会費無料（一部活動参加によっては、実費負担が生じる場合があります。）

※ 登録になると賠償責任保険に加入していただけます。

活動の様子



詳しくは、代表サポーター 宮田（☎090-7217-5918）までお問合せください。



子どもエコクラブ全国大会

2019. 3. 24 (東京にて)

約400名の参加者が集った大会で、全国の子どもエコクラブ員が一堂に会し、交流と学びの場となりました。

茨城県代表として参加しました。

大会の様子や表彰式の様子が写真で紹介されています。

いつまでも生き延びたい 2017. 2. 8

モミの木の梢にサシバが

＜サシバの里山＞探鳥会

サシバは、春、田んぼに水が溜る頃、田舎の里、市町の近郊に多く生息する鳥です。

山田さん 草刈りして皆さん来るのを待っていてくれました。

サシバは、田んぼの田舎のへんげで全う暮らすのです。

数ヶ月前から少なくなりました。オオタカは、モミの木の梢に生きています。オオタカは、サシバの巣を襲うことがあります。

今年はいつもの年より大子町ではサシバが多い。今年の冬は、下野、左馬、岩間、佐賀、生田などで見ることができました。

高野のサシバは山田さん、左馬のサシバはみんさん、佐賀のサシバはみんさん、生田のサシバはみんさんで見ることができました。

みんなで見守るサシバの住めるかんきょうを。

みんさん、サシバを見て 大よろびでした。

＜サシバがとまっているよ＞

みんなで見守るサシバの住めるかんきょうを。

「生きものたちと共存できる大子町」

2018. 2. 10 (土)

大子町の自然をみんなで守ります。

久慈川とその支流の川を丁寧に守ります。

市民ワークショップの様子や、生きもの観察の様子が写真で紹介されています。

みんなの活動報告

平成29年度活動報告 (市町村名 大子町) 会員数 10人 サポーター数 4人 活動回数 22回

八溝自然たんけんたい

～わたしたちの活動のねらい～

生きものと同じ世界で暮らす大子町をつくる。子どもたちにとって生き物や自然は身近な存在です。生き物や自然を通じて、生き物や自然の大切さを学び、環境意識を高め、持続可能な社会の実現に貢献します。

活動内容：自然観察、環境学習、ワークショップ、交流会など。

（2018. 8. 29）

なつやすみの かくしあひな

サシバの里山めぐり

自然探検でサシバの里山を探検しよう。サシバの里山めぐりをしよう。サシバの里山めぐりをしよう。

自然探検の様子や、サシバの観察の様子が写真で紹介されています。

サシバの住める里山づくり

子どもエコクラブ「サシバの里山づくり」

1. 目的

子どもエコクラブ「サシバの里山づくり」は、大子町の自然環境を保全し、サシバの生息環境を整えることを目的として、サシバの里山づくりを実施しています。

2. 活動内容

サシバの里山づくりとは、サシバの生息環境を整えることです。具体的には、草刈り、落ち葉の回収、木の植樹などを行います。

3. 活動日時

2019年7月27日（土）

4. 参加者

子どもエコクラブ員、サポーター、保護者、地域住民など。